

# かけ橋

まだ見ぬ君へ…

今回は、ボランティアでマジックを披露し、多くの人を楽しませてくれている富士マジッククラブを御紹介します。

## 富士マジッククラブ

富士マジッククラブは、富士駅南公民館成人講座の受講者が中心となって、昭和六十三年に発足しました。メンバーは現在三十七人。来年五月に行う十回記念の発表会に向けて、月二回富士駅南公民館で練習に励んでいます。

これまで、各地区文化祭や病院、老人ホーム、りすさんクラブなどのイベントに参加して、マジックを披露。子供からお年寄りまで、多くの人を楽しませてくれました。今では、多方面から出演依頼が来るほどの人気ぶりです。

代表の石川博布さん(横割一丁目)は、次のように話してくれました。



かじま祭りでも  
多くの観客を魅了

「私たちメンバーは素人がほとんどでしたが、十年続けてきたということと皆さんに認知されてきたのだと思います。出演依頼があるというのは、うれしい気持ちと同時に出演メンバーでどの出し物をやるか決めて練習するので励みになりますね。

マジックをやっている喜びを感じるのは、わがが決まって拍手をしてくれたり、驚きの表情をしてくれたりとお客さんの反応があったときです。お客さんには、理屈抜きでマジックを楽しんでいただきたいと思っています。

マジックは、技術も必要ですが、演技力も大事なポイントとなるという奥が深いものです。マジックをやってみたいと思われる方、私たちと一緒にマジックを楽しみませんか」

石川 方  
☎六三―三二八二



わざの練習に励む会員の皆さん

## ズームアップ

ふじ



## 富士ジュニア陸上教室

短・長距離、走り幅・高跳びなど、陸上競技の小学生部門で大活躍している富士ジュニア陸上教室の皆さん。中でも、十一月に行われた全国レベルの大会「浜松陸上カーニバル」の小学生男子四百メートルリレーの部で、勝亦俊弘君(大淵第一小)、田中圭君(丘小)、中野克英君(今泉小)、田村英嵩君(中央小)のチームが見事優勝を果たしました。

富士ジュニア陸上教室は、昭和六十三年に発足。現在、小学一年生から六年生までの一般公募で集まった約三百五十人が、毎週土曜日陸上競技場で練習に励んでいます。

指導に当たっている芦沢勝則先生は、「この教室は、陸上の楽しさを知ってもらうとともに自分に勝つ精神力をつけてもらうというのが目的で、大会に勝つことを目指しているわけではありません。ですから、練習は陸上の基本的な動きや筋力トレーニングが主ですし、練習の強制もしません。でも、陸上をやり



◀持久走でタイムにチャレンジ



▶左から勝亦君、田中君、中野君、田村君